石っこ賢さんの世界

子どもから大人まで、楽しみ方いろいろ！

この図鑑は、宮沢賢治が残した数多くの短歌や詩、童話、手紙、メモのなかから、科学者であった賢治の作品を「元素」の目でとらえ解説しています。そして、元素 118 のすべてがわかるようにしています。作品、周期表、元素、鉱物、元素発見の歴史、元素の利用法、みなさんが興味をもったところから入れるように、入口をたくさん用意しました。

❖著　者　桜井　弘（さくらい　ひろむ）

1942 年京都市生まれ。1971 年京都大学大学院薬学研究科博士課程修了。薬学博士。京都薬科大学名誉教授。桜井 弘 編、『元素 118 の新知識』、講談社（2017）、桜井 弘 編著、『元素検定』、化学同人（2011）、桜井 弘、『金属なしでは生きられない』、岩波書店（2006）など、元素にまつわる数多くの編著書がある。

❖写真協力　豊　遙秋（ぶんの　みちあき）

1942 年東京都生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程中退。理学博士。産業技術総合研究所 地質標本館 元館長。地質標本館をはじめ、東京大学、京都大学、秋田大学等の博物館所蔵の鉱物標本のデータベース化をすすめる。専門は鉱物学、鉱床学。著書に豊 遙秋・青木正博、『検索入門 鉱物岩石』、保育社（1996）など。

1 章 石っこ賢さんと元素の世界

周囲の人から「石っこ賢さん」とよばれた賢治。どんな学校で何を学んだのか、元素にひかれていった道すじをまとめました。

3 章 元素と鉱物

宮沢賢治が作品に用いなかった元素とそれを含む鉱物について、解説しています。鉱物の色や形、特徴も併せて示しました。

4 章 元素いろいろ

現在、知られている元素は全部で 118。4 章では、2 章と 3 章に顔をださなかった元素について、簡単に紹介しました。

2 章 宮沢賢治の元素図鑑

宮沢賢治の作品に出てくる元素は全部で 45 あります。本書のメインページとなる 2 章では、賢治が作品中に用いた元素を、原子番号の小さい順から取りあげて、作品とその元素を含む鉱物について解説しています。

元素から作品を解説

元素研究の一人者による、賢治の作品を解説です。元素の色や特徴を示すことで、賢治の作品と元素がより具体的にイメージできます。

元素を含む鉱物

鉱物の特徴や含まれる元素について写真とともに説明しています。他の本では見られない貴重な鉱物写真が掲載されています。

周期表での位置

周期表における、元素の位置を右肩に色で示しました。どのあたりに位置しているかが、ひと目でわかります。

元素の名前や記号・番号

元素名、元素記号、原子番号、英語名、固体・液体・気体の別、何族であるかがまとめられています。

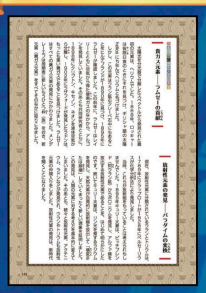
賢治の作品

賢治の作品を紹介し、元素というみかたで解説しています。ルビがついているので、漢字や旧かなづかいが楽に読め、自然に身につきます。

元素の豆知識

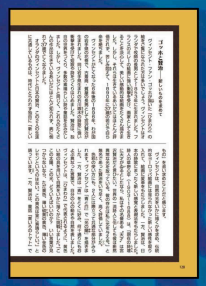
元素の発見者や発見の歴史、名前の由来や特徴、何に使われているかなど、元素についての多岐にわたる解説で、楽しく読みながら身につきます。

コラム：元素発見の歴史と周期表



◀ビッグバンに始まった元素の誕生から、周期表の発見、人工元素の合成までの歴史を 10 のコラムにしました。

コラム：ゴッホと賢治



◀賢治とゴッホ。意外な共通点で結ばれている二人。エピソードをコラムにまとめました。